

## 第4回品川区総合戦略策定委員会 議事概要

日時：平成27年12月24日（木）14:00～15:15

場所：品川区役所 本庁舎5階第五委員会室

### 議事次第

#### 1. 開会

#### 2. 委員長挨拶

##### ■委員長

- ・ 第4回品川区総合戦略策定委員会を開催する。
- ・ 本日は、これまでの審議内容とパブリックコメントの結果報告を踏まえ、答申案をまとめ、区長に答申する。

#### 3. 品川区総合戦略素案およびパブリックコメントについての意見交換

\*事務局より資料No. 3から資料No. 5までについて説明

##### ■委員長

- ・ 前回の策定委員会でいただいた意見を踏まえ、品川区総合戦略素案（案）を修正し、パブリックコメントを行った。その後、学識委員会議を開催し、パブリックコメントで寄せられた意見を検討のうえ、素案として取りまとめた。大きな問題点がなければ、この案で答申を行う。（異議なし）
- ・ 答申の際に、区の広報がパブリシティのために撮影を行うが、よろしいか。（異議なし）

#### 4. 答申

##### ■委員長

- ・ この委員会は、区長から8月5日に品川区総合戦略の策定について諮問を受け、以降、各委員により大変熱心に議論を重ねていただいた。本日、品川区総合戦略の素案について、答申をさせていただきたい。

\*事務局より「品川区総合戦略の素案について（答申）」代読

\*委員長より区長へ、答申文を手交

##### ■区長

- ・ 皆さまのご熱心な審議に感謝申し上げたい。しっかりと受け取り、今後の区政に活かしていきたい。
- ・ 総合戦略の策定は、地方創生の実現に向けて、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方と大都市圏との格差是正を目指す国の施策の一環として行われていると理解している。従って、地方と都市部の内容は、少し趣が違ってくる。地方では、東京への一

極集中を食い止めるためにはどうするべきかという観点で作られるのだろう。

一極集中が様々な議論になるのは、地方から東京に多くの若者が移り住んで来るのに、東京の出生率が低いことが原因であり、これは何とかしなければならない問題であると考えている。

この総合戦略素案の中で、1番目の基本目標である子育て施策は、まさにこの問題に対して最も大切な施策である。東京は用地費が高く、保育園を作ることが難しいが、地方から東京に出てきた人が、そこで子どもを生み育てられるということが、これからの日本にとって重要であると、この答申を受け改めて考えた。

区としても、大きな力を注いでいきたい。

- 基本目標2、3、4についても、2020年とその後のレガシーを見据えた提言をいただいたと感じている。しっかりと踏まえ、区政運営に努めていきたい。
- 改めて、熱心にご議論いただき答申をまとめていただいた、委員長、副委員長に心から感謝申し上げます。

## 5. 懇談

### ■委員

- 基本目標1が子育て施策に決まったことに、深い感銘を受けている。また、産業を支援し、働きやすく、創業しやすくするサポートに感謝している。東京オリンピック・パラリンピックによって、国内外から人が集まることも、楽しみにしている。  
そして、住みやすく、働きやすく、子育てしやすいまちになることを期待している。

### ■委員

- 総合戦略は、品川区が将来進むべきビジョンである。商店街もビジョンを持ち、まちと一緒に進んでいこうと勉強になった。
- 東京オリンピック・パラリンピックでは、観光客がたくさん訪れるだろう。商店街でどのようなおもてなしができるのか検討していきたい。今回、様々な団体の人たちと知り合うことができたので、今後も連絡を取り合い、お互いに知恵を出し合える関係を築いていきたい。

### ■委員

- 各委員の意見を反映していただき、今品川区が抱えている問題だけでなく、今後未来に向け、住みやすく、働きやすいまちにしていける施策となり、よりよいまちづくりに必要な総合戦略として固まった。

これからは、皆で協力し実行していくことが重要である。5年後は計画以上に素晴らしいまちになったと言えるような品川区にしていきたい。

### ■委員

- 派遣労働者などを取り巻く環境は日に日に悪くなっているが、若者の就労支援や女性の再雇用についても施策に取り入れてもらい感謝している。
- 総合戦略を生きたものにするために、区そして皆で協力し、取り組んでいきたい。

■委員

- ・ 地域メディアとして区政の取組みが区民に伝わり、また、区民の活力ある生活を情報配信し、双方向の発信に力を入れていきたいと改めて感じた。
- ・ 区内外だけでなく国外への情報配信を行い、品川区に足を運んでもらえるように取り組んでいきたい。

■委員

- ・ 品川区に住み続けたいと区民に思ってもらえるように、総合戦略の内容を町会にも反映させていきたい。

■委員

- ・ 12月に児童センターで行ったファミリーフェスティバルには、昔は子どもとして児童センターに通っていたが、今度は自分が親の立場になって運営に協力してくれた人もいて、大盛況だった。これは、これまで区が継続してきた施策の成果だろうと嬉しく思った。これからも区政に期待しているので、頑張ってもらいたい。

■委員

- ・ 青少年代表ということで出席したが、青少年代表とはどこからどこまでの範囲なのか難しいものであった。生活している中で感じたことや友人と話し合っただけで思ったことを話した。社会人の皆さまと横並びで意見交換ができ、良い経験をさせてもらった。

■副委員長

- ・ 品川区の特徴は4つの基本目標のとおりであり、それぞれにストーリーがあり、多様性がある。どれを最初に持つてくるのか議論になったが、どれも重要で、品川区に欠かすことのできないものである。
- ・ 金沢市にある高齢者と大学生と子どもと一緒に住む施設を視察した。高齢者が単にサービスを受けるだけでなく、高齢者と子どもと一緒にいることでお互いに豊かになることを実現しようとしており、その間に大学生が入り調整役を担っている施設である。

この委員会もそれぞれ違ったセクションからメンバーが集まった。これからも、一緒に働くことにより新しいことができるのではないかな。今後もぜひ一緒に取り組んでいきたい。

■委員長

- ・ 4回という限られた委員会の中で、たたき台がそのまま実現されてしまうのではないかと考えていたが、各委員から活発なご議論をいただき、審議内容を素案に反映させることができた。地方に比べて東京都、品川区であるからこそその難しさを問題意識として挙げ、対応できる答申になったと思う。

この総合戦略の中に区の施策を進める様々なヒントがあるので、区政運営で活用してもらいたい。

■区長

- ・ 各委員の皆さまから一言ずついただき、熱心に審議に関わってくくださったことに感謝

したい。

- ・ 国がある事を打ち出すと、都道府県から市区町村まで同じようなことをやるように流れてくるが、今回は、同じ総合戦略の基本目標と言っても、国と品川区では大きく違う。この総合戦略素案は、品川区に即したものになっており、皆さまが品川区で暮らし、働いている中で、品川区らしさを感じ、考えていただいたものが、この総合戦略素案に結び付いている。皆さまの感性や目の向けどころに感心させられた。
- ・ これからは、品川区がこの総合戦略を一つ一つしっかりと実行していくので、それぞれの施策を実行する際は、ぜひ手を貸していただきたい。

## 6. その他

### ■事務局

- ・ 現在、平成28年度の予算編成作業、総合戦略の施策の元となっている品川区総合実施計画（第4次）の策定作業が大詰めを迎えている。その動きによっては、数値等に多少の変更を行う可能性がある。これらを踏まえ、平成28年3月末に品川区総合戦略として確定をし、公表を行う。

## 7. 閉会

### ■委員長

- ・ 合計4回にわたる審議を終え、最後に委員を務めた副区長二人をはじめ、区の職員にも感謝したい。
- ・ これからも、区民、品川区に携わる人、皆がより幸せな生活を実現できるように、自分を含めて努力をしていきたい。

以上